訂正発行者情報

【表紙】

【公表書類】	訂正発行者情報
【公表日】	2026年11月６日
【発行者の名称】	株式会社ヒューマンアジャスト （HUMAN ADJUST Co., Ltd.）
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　根岸　靖
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿二丁目７番１号
【電話番号】	(03) 6258-1291（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長　　眞木　裕
【担当J-Adviser及び担当F-Adviserの名称】	フィリップ・キャピタル証券株式会社
【担当J-Adviser及び担当F-Adviserの代表者の役職氏名】	代表取締役社長　永堀　真
【担当J-Adviser及び担当F-Adviserの本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門一丁目23番１号
【担当J-Adviser及び担当F-Adviserの財務状況が公表されるウェブサイトのアドレス】	https://www.phillip.co.jp/
【電話番号】	(03)3666-2321
【取引所金融商品市場等に関する事項】	東京証券取引所TOKYO PRO Market 福岡証券取引所Fukuoka PRO Market なお、振替機関の名称及び住所は下記のとおりです。 名称：株式会社証券保管振替機構 住所：東京都中央区日本橋兜町７番１号
【公表されるホームページのアドレス】	株式会社ヒューマンアジャスト https://human-adjust.co.jp/ 株式会社東京証券取引所 https://www.jpx.co.jp/ 証券会員制法人福岡証券取引所 https://www.fse.or.jp/

【投資者に対する注意事項】

１　TOKYO PRO Market及びFukuoka PRO Marketは、特定投資家等を対象とした市場であり、その上場会社は、高い投資リスクを含んでいる場合があります。投資者は、TOKYO PRO Market及びFukuoka PRO Marketの上場会社に適用される上場適格性要件及び適時開示基準並びに市場価格の変動に関するリスクに留意し、自らの責任で投資を行う必要があります。また、投資者は、発行者情報により公表された情報を慎重に検討した上で投資判断を行う必要があります。特に、第一部　第３　４【事業等のリスク】において公表された情報を慎重に検討する必要があります。

２　発行者情報を公表した発行者のその公表の時における役員（金融商品取引法（以下「法」という）第21条第１項第１号に規定する役員（取締役、会計参与、監査役若しくは執行役又はこれらに準ずる者）をいう）は、発行者情報のうちに重要な事項について虚偽の情報があり、又は公表すべき重要な事項若しくは誤解を生じさせないために必要な重要な事実に関する情報が欠けていたときは、法第27条の34において準用する法第22条の規定に基づき、当該有価証券を取得した者に対し、情報が虚偽であり又は欠けていることにより生じた損害を賠償する責任を負います。ただし、当該有価証券を取得した者がその取得の申込みの際に、情報が虚偽であり、又は欠けていることを知っていたときは、この限りではありません。また、当該役員は、情報が虚偽であり又は欠けていることを知らず、かつ、

相当な注意を用いたにもかかわらず知ることができなかったことを証明したときは、上記賠償責任を負いません。

3　TOKYO PRO Market及びFukuoka PRO Marketにおける取引所規則の枠組みは、基本的な部分において日本の一般的な取引所金融商品市場に適用される取引所規則の枠組みと異なっています。すなわち、TOKYO PRO Market及びFukuoka PRO Marketにおいては、J-Adviser及びF-Adviserが重要な役割を担います。TOKYO PRO Market及びFukuoka PRO Marketの上場会社は、特定上場有価証券に関する有価証券上場規程の特例に従って、各上場会社のために行動するJ-Adviser及びF-Adviserを選任する必要があります。J-Adviser及びF-Adviserの役割には、上場適格性要件に関する助言及び指導、並びに上場申請手続のマネジメントが含まれます。これらの点について、投資者は、東京証券取引所のホームページ等に掲げられるTOKYO PRO Marketに係る諸規則及び福岡証券取引所のホームページ等に掲げられるFukuoka PRO Marketに係る諸規則に留意する必要があります。

4　東京証券取引所及び福岡証券取引所は、発行者情報の内容（発行者情報に虚偽の情報があるか否か、又は公表すべき事項若しくは誤解を生じさせないために必要な重要な事実に関する情報が欠けているか否かという点を含みますが、これらに限られません）について、何らの表明又は保証等をしておらず、前記賠償責任その他の一切の責任を負いません。

1【訂正発行者情報の公表理由】

2025年12月25日付で公表いたしました第19期中間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）に係る発行者情報の記載に関し、一部誤りがありましたので、記載内容を訂正するため、訂正発行者情報を公表するものであります。

2【訂正事項】

第一部【企業情報】
第３【事業の状況】
１【業績等の概要】

第一部【企業情報】
第６【経理の状況】
１【中間連結財務諸表等】
【注記事項】
（セグメント情報等）
【セグメント情報】

3【訂正箇所】

訂正箇所は＿＿＿を付して表示しております。

1【業績等の概要】

＜訂正前＞

(1) 業績
（前略）
セグメントの業績は次のとおりであります。
（鍼灸接骨院運営事業）
売上高は1,414,714千円（前年同期比18.4%増）、セグメント利益は77,938千円（前年同期比24.1%減）となりました。
（店舗運営等支援事業）
売上高は13,613千円（前年同期比22.4%増）、セグメント利益は8,191千円（前年同期比99.8%増）となりました。

＜訂正後＞

(1) 業績
（前略）
セグメントの業績は次のとおりであります。
（鍼灸接骨院運営事業）
売上高は1,414,714千円（前年同期比18.4%増）、セグメント利益は63,538千円（前年同期比33.4%減）となりました。
（店舗運営等支援事業）
売上高は13,613千円（前年同期比22.4%増）、セグメント利益は8,191千円（前年同期比99.8%増）となりました。

【セグメント情報】

＜訂正前＞

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当中間連結会計期間（自　2024年４月１日　至　2024年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	鍼灸接骨院運営事業	店舗運営等支援事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,194,723	11,123	1,205,847	－	1,205,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	7,270	7,270	△7,270	－
計	1,194,723	18,393	1,213,117	△7,270	1,205,847
セグメント利益	102,669	4,100	106,769	△7,270	99,499
セグメント資産	991,457	18,231	1,009,689	△3,432	1,006,257
その他の項目					
減価償却費	27,311	－	27,311	－	27,311
のれんの償却額	3,032	－	3,032	－	3,032
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	71,608	－	71,608	－	71,608

（注）１．セグメント利益の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	鍼灸接骨院運営事業	店舗運営等支援事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,414,714	13,613	1,428,328	－	1,428,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	14,400	14,400	△14,400	－
計	1,414,714	28,013	1,442,728	△14,400	1,428,328
セグメント利益	77,938	8,191	86,129	△14,400	71,729
セグメント資産	1,167,417	37,114	1,204,532	△4,290	1,200,242
その他の項目					
減価償却費	25,969	－	25,969	－	25,969
のれんの償却額	3,032	－	3,032	－	3,032
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	29,482	－	29,482	－	29,482

（注）１．セグメント利益の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

＜訂正後＞

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当中間連結会計期間（自　2024年４月１日　至　2024年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		計	調整額（注）１	中間連結財務諸表計上額（注）２
	鍼灸接骨院運営事業	店舗運営等支援事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,194,723	11,123	1,205,847	－	1,205,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	7,270	7,270	△7,270	－
計	1,194,723	18,393	1,213,117	△7,270	1,205,847
セグメント利益	95,399	4,100	99,499	－	99,499
セグメント資産	991,457	18,231	1,009,689	△3,432	1,006,257
その他の項目					
減価償却費	27,311	－	27,311	－	27,311
のれんの償却額	3,032	－	3,032	－	3,032
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	71,608	－	71,608	－	71,608

（注）１．セグメント利益の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		計	調整額（注）１	中間連結財務諸表計上額（注）２
	鍼灸接骨院運営事業	店舗運営等支援事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,414,714	13,613	1,428,328	－	1,428,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	14,400	14,400	△14,400	－
計	1,414,714	28,013	1,442,728	△14,400	1,428,328
セグメント利益	63,538	8,191	71,729	－	71,729
セグメント資産	1,167,417	37,114	1,204,532	△4,290	1,200,242
その他の項目					
減価償却費	25,969	－	25,969	－	25,969
のれんの償却額	3,032	－	3,032	－	3,032
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	29,482	－	29,482	－	29,482

（注）１．セグメント利益の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と一致しております。